

日本文化を考える

火2 久保勇先生

キーワード: 文学 古典 中世 戦争 災害 自身 火事 無常 軍記 説話 随筆

←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。
★のついている図書は、授業期間中は本館N棟2階授業資料ナビコーナーにあります。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- ジャパンナレッジ 【 <http://www.jkn21.com/top/corpdisplay> 】
→ 「日本国語大辞典」「日本人名大辞典」など辞典のオンライン版です。基本情報はここから得ましょう。
- 国立国会図書館サーチ 【 <http://iss.ndl.go.jp/> 】
→ 2012年からさまざまな文献資料情報が「横断検索」できるようになり、大変便利です。
- 国文学研究資料館 【 <http://www.nijl.ac.jp/> 】
→ 研究論文を検索するには「国文学論文目録DB」を使います。
- 東京大学史料編纂所 【 <http://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/db.html> 】
→ 当時の日記・記録・文書など「史料」の用例検索はこちらのHPから調べられます。

図書 本には、テーマに関する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

- 方丈記：全 / [鴨長明著]；武田友宏編 角川学芸出版 角川文庫:14744 . 角川ソフィア文庫；89 . ビギナーズ・クラシックス
→ 初心者向けにやさしく解説されており、古文が苦手な人にも読みやすいです。
★【本館L棟4階小型 914.42/KAM】
- 方丈記：現代語訳付き / 鴨長明 [著]；築瀬一雄訳注 改版初版 角川学芸出版 角川文庫:16562
→ 初版は1967年。注釈、関係資料などが付いており「読み」が広がっていきます。
★【本館L棟4階小型 914.42/KAM】
- 平家物語 / 市古貞次校注・訳 小学館 1994 新編日本古典文学全集:45-46
→ もっともよく読まれる寛一本系統の本文。現代語訳が付いています。
★【本館L棟4階A 918/SH69】
- 訓読玉葉 / 九条兼実[原著]；高橋貞一著 高科書店 1988-1990
→ 九条兼実の日記を読み下したものの。平安末～鎌倉始発期の貴重な史料です。
★【本館K棟3階A 210.39/KUN】
- 慈円；北島親房 / 永原慶二責任編集 中央公論社 1971
→ 兼実の弟・慈円の史書『愚管抄』の現代語訳を収録(大隅和雄氏)。
★【本館L棟2階A 081/N77】
- 方丈記私記 / 堀田善衛著 筑摩書房 1971
→ 大戦時の光景と『方丈記』が描く世界とが著者の中で強烈に重なった記憶を綴った名著。
★【本館L棟4階A 914.6/H96】
- 中世日本人の思惟と表現 / 桜井好朗著 未来社 1970
→ 冒頭論文「隠者の発想」を始め、参考となる論考を多く収めています。
★【本館L棟4階A 910.24/SAK】
- 中世災害・戦乱の社会史 / 峰岸純夫著 吉川弘文館 2001
→ 中世後期の論考が多いですが、第I部「自然災害と中世の人々」が参考になります。
★【本館K棟3階A 210.4/CHU】
- 死者たちの中世 / 勝田至著 吉川弘文館 2003
→ 12～13世紀の都では「死者」がどのように扱われていたか、その実態が示されています。
★【本館K棟3階A 385.6/SHI】

参考図書(辞書・事典等) 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおその内容をつかみましょう。

- 國史大辞典 / 国史大辞典編集委員会編 吉川弘文館 1979【電子書籍あり】
→ 歴史事典は数多く出版されていますが、最も信頼されている辞典はこちら。
【本館K棟3階A 210.03/KO53】【本館K棟2階参考 210.03/KO53】

- 平家物語大事典 / 大津雄一 [ほか] 編 東京書籍 2010
→ 『平家物語』に関する最新の総合辞典。『平家』で分からないことがあれば必ず調べましょう。【本館K棟2階参考 913.434/HEI】
- 新・古典文学研究必携 / 市古貞次編 学燈社 1990 別冊国文学:No.40
→ 作品ごとに重要参考文献が網羅的に紹介されており便利です。【本館L棟4階A 910.2/SHI】

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)
作成: 千葉大学附属図書館